連續であつた。

現在に於ては交通勞働者の爭議は獨り當該資本家に對する鬪爭ではなくして、交通産業トラスト大金融資本閥、[redacted]その他あらゆる反動勢力等々の實に大規模な強力なる組織に對する鬪爭化すのである。從つて此れに對する鬪爭は從來の如き局部的分散鬪爭である限り我々の敗北は既定の事實となつた。

此事實の敎訓によつて今や全大衆から戰線統一の叫び聲が猛然と起り交通總聯盟一大結成の機運を益々醸成しつゝある

東京交通勞働組合は此の好機を逸することなく、自己の持つ任務と地位を充分理解し以つて未組織勞働者の組織化の爲に活潑なる日常鬪爭を開始すると共に日本交通總聯盟の民主的中央集權主義の確立徹底を期し、資本家の分割的彈壓に對しても常に全國的統一鬪爭によつて之を粉碎する爲の努力と指導を怠つてはならぬ。

結　語

以上は當面鬪はねばならぬ緊急事のみであつて、此の外にも講案として幾多の主要問題を揭げられてあるが、要は守勢の立場にある我東交としては、現在の勞働條件を著しく低下せしめると共に不良、高給、高齡等々の故を以て大量的に首のスゲ替へをなさんとする第二更生案の襲來に對し、全力を傾注して之を粉碎しなければならぬ。

之なしには如何なる講案を揭げられても、それは恐らく無意義であらう。

斯かる意味に於ても第二更生案粉碎鬪爭は實に重要な意義をもつものである。

而してその最善の方法としては更生案粉碎鬪爭の項に揭げた具體的防禦策の實行と並行して團體協約の締結を實現せしめねばならぬ。然し乍ら第二更生案防衛粉碎と言へ、團體協約締結と言へ實に重大なる問題であつて、東交自體が現在の如き無力な狀態であつては到底此の問題は達成し得られないであらう。

此意味に於て自己陣營の擴大强化が絕對に必要條件である陣營の擴大强化の爲には反動ファツショの徹底的掃蕩と未組織獲得を計り、更に財政の確立と鬪爭組織の整備等を行はねばならぬ。

(一〇) 反動ファツショ撲滅の件

提案　本部、車庫部、電氣部、工場部

理由

一昨年來急速に擡頭して來た日本の國粹主義、國家社會主義、日本主義等の運動は自らはファツショに非ずと言ひ國民多數者の味方であるかの如く宣傳し廻つてゐるが彼等はその根本的立場に於いてドイツ、イタリーに於けるファツショとその軌を一にするもので、崩れかゝつた資本主義の最後の支柱たらんとするものである。彼等は財閥の橫暴、政黨の腐敗を叫ぶと雖もそれは決して資本の搾取を廢絕し、勞働者農民をその搾取の鐵鎖より解放せんとするのではない。

國家、國民の名にかくれて資本主義の勞働者搾取の事實及びそれによつて生ずる勞資の對立鬪爭の必然性を極力否定し勞農大衆の階級的運動を階級的利己主義なりとして排擊する彼等の立場は根本に於いて資本主義肯定の基礎に立つものであり、彼等の主張する國家統制經濟、國家社會主義は實は國家權力によつて資本主義經濟制度を維持せんとする國家資本主義に外ならない。表面上は資本家財閥と對立するかに見えても資本家財閥の忠實なる擁護者なのだ。この事は彼等の行動を檢討すれば一層明瞭となる。日本ファツショの中心的勢力たる生産黨、國粹會、建國會が勞働者、農民の爭議に對抗して資本家地主の用心棒的役割を演じてゐることは餘りにも顯著なる事實であり更に無産階級戰線よりファツショに轉落した赤松、望月等は勞働者大衆から相手にされなくなつた札付のグラ幹である。又我が市電内でファツショ運動をなしつつある宮井、伊藤、馬場、濱田等は我々の生活權擁護の鬪爭に於いて常にスキヤツプを働き電氣局の手先をつとめてゐる惡むべき裏切者である。この市電内ファツショは我々が第二更生案の大彈壓と一大決戰を開始せんとしてゐる矢先に電氣局の指令により又々積極的策動を始め虎の門ビルに日本交通倶樂部なるものを設置し、最近この倶樂部を母體に日本交通從業員組合なるものをデツチ上げんと策動狂奔してゐる。この策動は直接には第二更生案の彈壓に對する我々の鬪爭を裏切らんとするものであり更に東交の力を弱め今後電氣局の彈壓を容易ならしめんとする非階級的裏切的意圖に基くものである。

以上大體述べた理由により我々は組合の大衆的力により反動ファツショを徹底的に暴露排擊し、職場に延びた彼等の魔手を粉碎撲滅せんとするものである。

實行方法

(一) 大衆的集會、文書等によりファツショの正體を暴露排擊しこれを充分大衆に徹底せしめること。

(二) ファツショの理論的究明暴露のための研究會の如きを本部、支部に於いて開くこと。

(三) 組合員にして宮井、伊藤等と通謀し、或ひはその他のファツショ團體と連絡してファツショ運動を行ふ者ある時は斷乎除名すること。

(一一) 賃下馘首に依る第二更生案反對鬪爭方針並びに爭議對策

提案　本部、電車部、軌工部、電氣部

理由

一、電氣局の財政と赤字の原因

市電當局は現在二億三千萬圓餘の巨大なる事業公債を背負ひ、其の利子のみにても年額一千二百萬の巨額に上るのであ